

効果的な広告は自身でも作れる！

～情報・サービス業部会～

1月16日、情報・サービス業部会（野沢慎吾部会長）は、(株)電通東日本クリエイティブ・ディレクターの古山健志氏を講師に、「課題の数だけ、効果的な広告がある！〜きつと見つかる、あなたの広告〜」と題したセミナーを開催しました。（参加者70名）

古山氏は、「課題の数だけ広告はある。有名タレントを起用した全国展開のテレビCMだけが有効な広告ではない、やり方次第である。デザインは特別な技術が必要だが、コピー（言葉）なら、だれでも操ることができる。ゆえに、皆様自身で広告を作ることが可能である」と述べました。

また、過去に自身が手掛けた広告について、実際に出来るまでの思考プロセスに触れながら、具体的に解説。数百万円の制作費でも、広告効果が数億円にも及ぶものもあり、高額なお金



広告の効果を解説する古山健志氏

をかけなくても、効果的な広告を作ることが可能であることを力説しました。

元刑事が教える！採用活動で失敗しないために～建設・不動産業部会～



人の見抜き方を説明する森透匡氏

建設・不動産業部会（本間達郎部会長）は、2月13日に参加者54名で、「採用面接におけるウソや心理の見抜き方」をテーマに、(株)クリアウッド代表取締役 森透匡氏を講師に迎え講演会を開催しました。

森氏は、誤採用が生まれる理由として、面接官の面接方法が我流であり、雰囲気作りや情報を引き出す質問ができていないからと指摘し、質問で見抜く刑事的質問法や頭が良い人を見抜く方法、コミュニケーションスキルを見抜く方法などを説明しました。

また、森氏は、採用面接は会社も選ばれる場であることを認識するとともに、場合によっては採らない勇気を持つことも重要であると強調しました。

ウイルス感染の予防や健康管理について学ぶ
～教育福祉医療部会～

教育福祉医療部会（渡邊毅部会長）は、2月19日に参加者50名で健康経営を推進するための「いきいき健康セミナー」を開催しました。

第1部では、新潟大学歯学部総合病院・肝疾患相談センター特任助教の上村博輝氏が「肝臓のおはなし」をテーマに、肝炎ウイルスと肝臓の病気について説明しました。

第2部では、新潟青陵大学副学長・新潟大学名誉教授の鈴木宏氏が「職場・家庭の脅威のウイルス感染にご注意」をテーマに、職場や家庭におけるインフルエンザを始めとしたウイルス感染の予防対策や健康管理について解説しました。

新潟のおもてなし・ファンづくりを考える
～女性会～

新潟商工会議所女性会（田中久美子会長）は、2月13日に新春講演会・新年会を、参加者40名で開催しました。

新春講演会では、翻訳・通訳・ネイティブ広告事業などで新潟を拠点に活躍しているデュケット智美氏が、「世界中が喜ぶ 新潟のおもてなしとファンづくり」と題して講演しました。

デュケット氏は「観光振興やまちづくりには、軸を持つことが重要。新潟

システム建築により自由設計、
ローコスト・短工期を実現！

工場・事務所・倉庫・店舗の建築は
おまかせください！



コスモ建設株式会社

〒950-0983

新潟県新潟市中央区神道寺2-2-25

TEL025-245-7111 FAX025-245-7119

メールアドレス：info@cosmo-k-co.com

コスモ建設(株) で検索



※(株)住金システム建築
の施工会員です。

の「顔」とは何か改めて考え、今持っているものを良い形で次世代に繋いでいく意識を持つことで、外部にも新潟の魅力が伝わっていく」と語りました。その後の懇親会では新入会員の挨拶などもあり、会員同士の交流を深める機会となりました。



魅力あるまちづくりについて語る
デュケット氏

連携強化による活性化に向けて

〜新潟青年会議所との懇談会〜

2月12日に2019年の新潟青年会議所（五十嵐悠介理事長）幹部と当所正副会頭等との懇談会を開催しました。

福田会頭と五十嵐理事長の挨拶と双方の自己紹介に引き続き、新潟青年会議所の各室・委員会における基本方針等について説明を受けた後、当所の次年度事業方針について説明を行いました。その後の意見交換では、中心市街



挨拶する五十嵐理事長

地の活性化やまちの国際化に対する取組・発信方法のほか、新潟まつりの新しい仕掛けづくりや災害発生時における防災対策の共有認識などについて活発な意見交換が行われました。

五十嵐理事長は、「今年には新潟市が開港150周年を迎えた素晴らしい節目の年であると同時に新潟青年会議所も創立65周年を迎える。商工会議所の事業方針が自分たちの取り組む部分と重なっていることで、様々な場面で協力しながら新潟の課題解決に取り組んでいきたい」と意欲を示しました。

『華麗なる開港5港のカレー』大集合
〜にいがた冬食の陣・当日座開催〜

第27回となる「にいがた冬・食の陣

『当日座』が、2月9日〜11日の三日間に亘り、市内3会場（古町・万代シテイ・新潟ふるさと村）で開催されました。初日の古町会場ではオープニングセレモニー（福田勝之会頭出席）が行われ、新潟開港150周年を記念して同実行委員会と市内蔵元がコラボした赤いお酒「古代」の乾杯でスタートしました。

今回の目玉として、カレー専用県産『華麗米』を使った「開港5港カレー」が出版し、来場者はカレーをはじめ各地の味を堪能していました。



食の陣当日座オープニングセレモニーで乾杯

産学官金連携の事例を研究

にいがた産学官金連携推進ネット

ワーク事業の一環として、2月6日に「産学官金連携による新たなイノベーションの創造」と題してセミナーを開催しました。参加者38名。

当日は、(国研)科学技術振興機構(JST) マッチングプログラナーの植木千尋氏をはじめ、新潟大学、新潟薬科大学、新潟工科大学、長岡技術科学大学の担当者から、各団体の産学官金連携の事例や制度等について説明を受けました。

セミナー後の名刺交換会では、講師と参加者が活発な情報交換を行いました。

新潟開港150周年記念シンポジウム開催

これまでの歴史を振り返り、これからのまちづくりを考えるシンポジウム『開港150周年の新潟のまちづくり』（同記念事業実行委員会）が、2月9日、開催されました。参加者は260名。

基調講演では、新潟市の「都市デザイン」を監修する西村幸夫・東京大学名誉教授が、昨年7月に新潟県と新潟市が一体となって策定した『新潟都市の都市デザイン』をもとに、都心軸（東大通ルート）、副軸（弁天ルート・花園ルート）、水辺ゾーン（万代島）等の位置づけについて解説しました。

その後の、パネルディスカッションでは活発な話し合いが行われました。